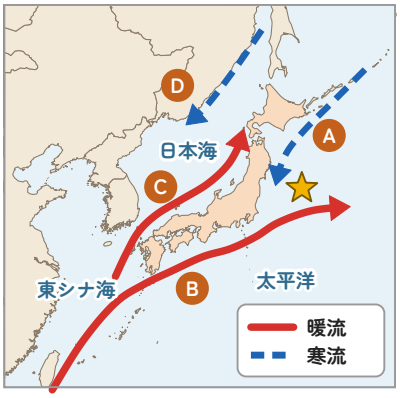
水産業のさかんな地域 ① きほん

月　日 名前

1 日本のまわりの海について、答えましょう。

1つ4点（24点）　よく出る



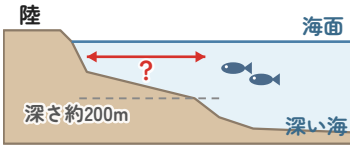
(1) A～Dの海流の名前を、語群から選んで記号で書きましょう。

語群　ア 黒潮（日本海流）　イ 親潮（千島海流）　ウ 対馬海流　エ リマン海流

A（　）　B（　）　C（　）　D（　）

(2) ★のあたりは、暖流と寒流がぶつかり、魚のえさになるプランクトンが多いよい漁場です。このような所を何といいますか。（　　）

(3) 右の図の「？」のような、深さ200mくらいまでの浅くて平らな海底を何といいますか。（　　）



2 次の説明にあう漁業の名前を書きましょう。

1つ5点（30点）　よく出る

(1)	遠くの海で、数か月から1年近く漁をする。	
(2)	日本の近くの沖で、数日がかりで漁をする。	
(3)	岸に近い海で、日帰りで漁をする。	
(4)	いけすなどで、魚や貝を大きくなるまで育てて出荷する。	
(5)	たまごからちぎょ（魚の子ども）まで育てて海や川に放し、大きくなってからとる。	

(6) (1)～(5)のうち、「育てる漁業」を2つ選んで番号で書きましょう。（　　）

3 漁の方法について、答えましょう。

1つ4点（16点）　きほん



上のア～エの漁の方法は？　まきあみ漁（　）　一本づり（　）　はえなわ漁（　）　底引きあみ漁（　）

4 魚がとどくまで

(1)8点 (2)7点（15点）　きほん

(1) とれた魚が店にならぶまでの順に、ア～オをならべましょう。

ア せりにかける　イ トラックで運ぶ　ウ 港で水あげする　エ 店にならぶ　オ 箱につめて氷で冷やす

（　　）

(2) 魚を新鮮なまま運ぶくふうは？　ア 冷やさずに運ぶ　イ 保冷トラックで冷やして運ぶ（　）

5 水産業の今とこれから

1つ5点（15点）　きほん

(1) 漁業で働く人は、1961年に約70万人、2023年に約12万人。どう変わった？（　　）

(2) 日本の魚かい類は、国内産が約53%（2025年度）。わかることは？　ア ほぼ全部が国内産　イ 約半分を輸入（　）

(3) 水産資源を守る取り組みは？　ア 小さい魚はにがす　イ とれるだけとる（　）

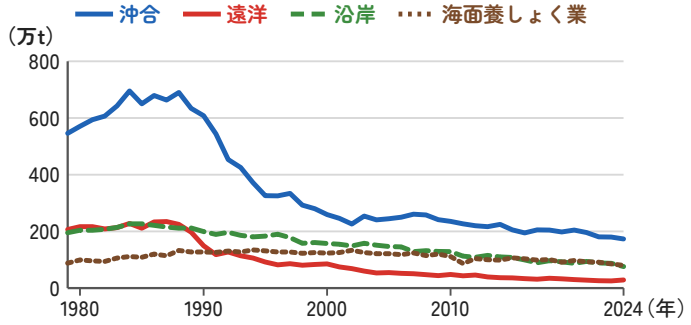
おわったら ○を つけよう　◯ できた！　◯ もういちど！

水産業のさかんな地域 ② 活用

ステップ 1／8　② 活用　　月　日 名前

1 グラフは、漁業の種類別の生産量の変化です。

(1)(2)5点 (3)1つ5点 (4)10点（30点）　よく出る



資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

(1) 2024年にいちばん多い漁業は？

(2) 1979年の約7分の1に減ったのは？

(3) (2)が減った理由を2つ選ぶ。

ア 1970年代の後半から、多くの国が海岸から200海里（約370km）のはんいで、外国の漁を制限するようになった
イ 船の燃料になる石油のねだんが上がった　ウ 日本の近くの海で魚がとれすぎた

(4) 海面養しょく業の生産量の変化には、どんな特ちょうがありますか。ほかの漁業とくらべて書きましょう。

2 2つの「育てる漁業」をくらべましょう。

(1)(2)5点 (3)10点（20点）　よく出る

A　たまご → ちぎょ → いけすで大きく育てる → 出荷する

B　たまご → ちぎょ → 海や川に放す（放流） → 大きくなってからとる

(1) さいばい漁業はA・Bどちら？　(2) 養しょく業のよい点は？ ア 計画的に出荷できる　イ えさがいらない

(3) さいばい漁業が、水産資源（しげん）を守ることにつながるのはなぜですか。

3 表は、ある漁港の魚が東京の市場にとどくまでの例です。

(1)(3)5点 (2)1つ5点（20点）　きほん

時こく	できごと
午前3時	漁港で水あげ
午前5時	せり
午前8時	氷づめして保冷トラックで出発
次の日の午前6時	東京の市場に着く（高速道路を使う）

※ ある漁港の例（数字は例）。

(1) 水あげから東京の市場まで何時間？

(2) 新鮮さを保つくふうを2つ。

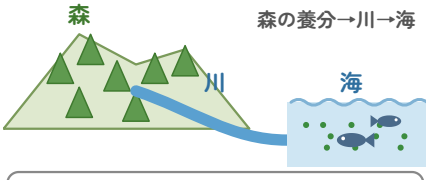
(3) 高速道路を使うよい点は？

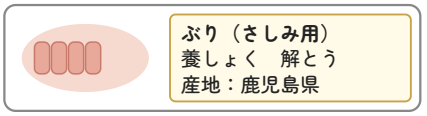
4 水産資源（しげん）を守り、豊かな海をのこすために

1つ10点（30点）　★チャレンジ

(1) 漁をする量や期間を決めたり、小さい魚をにがしたりするのはなぜですか。

(2) 右の図のように、漁師が山に木を植えています。なぜですか。





(3) 右下の魚のパックについて。①どこで育てた？　②育てた魚？とった魚？

おわったら ○を つけよう　◯ できた！　◯ もういちど！